

「光」の贈りもの
献眼で あなたにもできます

富山県
アイバンクだより

献眼者ご芳名

平成23年9月から平成24年5月まで

平成23年

10月 故 佐野 辰一 様 高岡市
11月 故 本田 功 様 富山市
12月 故 和気 陽子 様 富山市
故 藤澤 榮一 様 富山市
故 佐々木 弘 様 氷見市

平成24年

1月 故 向川 義則 様 小矢部市
故 池田 勲 様 南砺市
故 澤田 サヨ 様 富山市
故 大和まこと 様 富山市
2月 故 匿名希望 高岡市
故 匿名希望 魚津市
故 桃井 伸子 様 富山市
故 匿名希望 富山市
4月 故 中野 長保 様 射水市
5月 故 辻 信之輔 様 富山市
故 匿名希望 富山市
故 匿名希望 朝日町
故 西田 修 様 上市町



—謹んでご冥福を
お祈り申し上げます—

ご挨拶

公益財団法人富山県アイバンク
理事長 大黒 幸雄



富山県アイバンクは平成3年12月に設立し、20年が経ちました。この間、278名の方からご献眼いただき、442名の方が移植手術を受け光を取り戻されています。(平成24年7月現在)

献眼で大切なのは、ご本人の崇高なお心です。しかし、そのお心だけでは、献眼することができません。最終的に献眼を決断なさるのは、ご家族です。ご家族のご理解があり、決断されたことによりその意思は尊重されます。

ご本人の意思だから、優しい人だったから、誰かの光となるのなら、お体の一部がどこかで生きていくのなら…様々なお気持ちがあったかと思います。全ては、ご本人への、また移植を受ける方への愛のお気持ちであるかと思います。ご本人へも、ご家族へも、ただただ感謝の念に堪えません。

皆様の、ご家族の、この温かいお心を受け取りお渡しするため、私共アイバンク一同、より一層献眼活動を進めてまいりたいと思っております。

来る9月30日、富山県民会館におきまして、ご献眼いただいた方々への慰霊の気持ちを込めての記念式典と富山県民皆様のアイバンク事業についてのより一層の理解と協力を求めるため、記念大会を開催いたします。皆様方には、是非ご来場賜りますようお願い申し上げます。

どうか、本誌発行を機会に、県民皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、アイバンクだより第18号発行のご挨拶にかえさせていただきます。

永遠に18歳のまま

山崎 仁嗣

献眼をしてから間もなく3年。永遠に18歳のままの娘の角膜は、移植された2人の方の人生の光となって輝いている事でしょう。当時、高校3年生で卒業後の進路を模索していた娘に、就職先が決まった報告をしました。普通に考えると、故人から眼を摘出すると言おうものなら生前の移植登録でもしていない限り、おそらく肉親から反対する意見がでる事でしょう。しかし、幸いにも私の家族の中では、皆が同意してくれました。と言うのも、娘は生まれてすぐに心臓病が見つかり、物心が付くまでに当時の医薬大や、大阪の病院で幾度となく手術を受け、その都度生死をさまよいながらも、多くの輸血や医療技術に救われ、日常生活が送れるまでになりました。私達家族は娘の病気と関わる中で、他の重篤な病気を抱え、闘病している患者さん達と接する機会も日常のようになり、暗黙の内に移植医療についても関心を示すようになりました。実際に、私自身も早くから骨髄バンクに登録をしました。又、私の両親も死んだら今後の医学の為にと献体を申し込みました。娘の存在によって、私達の医療に関する考え方が大きく変化した事は違いありません。このような経緯もあり、これまでに娘が受けた恩恵へのお返しの意味もこめて、献眼を決意した事に娘も理解してくれると考えています。あの日、医師に献眼を申しでました。同じ大学病院の中にアイバンクの事務局があったので、すぐに担当の方より説明を受けました。

初めての事で、多少の不安が交錯しましたが、摘出するのに約1時間位だったと思います。術後の娘の顔は、生前の顔と全く変わりなく、改めて医療技術の高さに驚きま

した。最後は、エンゼルメイクを施してもらい、かわいい顔のまま見送る事ができて感謝しております。今

現在は、娘を嫁に出した親の心境で、日々を送っています。



院内コーディネーター紹介

富山逋信病院

病院長 高田 正信

院内コーディネーター 関堂 好子



当院は、平成23年度から1名の院内コーディネーターが委嘱を受けており、私自身が2年目になります。現在の主な活動は、富山県院内コーディネーター連絡会に参加し、移植医療に関する情報を得て、ポスター等を掲示し情報提供を行い、献眼のサポートができるよう取り組んでいます。

私が院内コーディネーターになったきっかけは、当院長が富山県移植推進財団の理事であり平成22年度半ばに公的病院として院内コーディネーターをという依頼があったこと、今から十数年前にご本人の意思により献眼があり、この時に勤務していた私が同席させていただき、ご家族、富山県アイバンクの入江さんと関わることができ、深く印象に残っていたからです。院内コーディネーターを受けるに当たり、富山県移植推進財団の高橋さん、富山県アイバンクの入江さんに「臓器提供」「エンゼルメイク」の講習会を開催していただきました。講習会を開催する前までエンゼルメイクを行っていなかったのですが、講習会後はスタッフの意識が変わり、グリーフケアとしてのエンゼルメイクが自然と行えるようになり、ご家族と時間を共有することができつつあります。

院内コーディネーターとして関わった献眼事例は平成23年度に1例ありました。ターミナルケアで入院中の患者さまとの日常会話から「自分が亡くなったら臓器を提供したい」という話を聞いて、患者さまとご家族の意思を確認し、富山県アイバンクの入江さんのアドバイスを受けながら献眼のサポートができました。生前にご家族とよく話されていたのでお孫さんまでもが献眼について理解されて、一緒にエンゼルメイクを行えたことはとても貴重な経験でした。

今後は院内啓蒙活動を行い移植医療に関する院内整備としてマニュアルの作成に取り組み、患者さまとご家族の意思を大切に、サポートできるよう活動していきたいと思っています。

院内コーディネーター紹介

社会保険高岡病院

病院長 加藤 弘巳

院内コーディネーター

医療安全対策室 看護科長 石丸 幸子



当院では、院内コーディネーターは看護科長1名が担当しており、私自身は2年目となります。

昨年は県内外で開催されたさまざまな研修に参加し多くの貴重な学びをさせていただきました。今まで、長く医療に従事してきましたが、臓器移植についての知識や情報が不足していることを実感しました。

現在、当院には臓器提供に関する委員会がありませんが、院内コーディネーターの活動として、研修会や連絡会へ参加し会議等で報告を行い、啓発のためのポスター掲示やパンフレット設置などの情報提供を行っています。

さて、昨年当院では角膜提供が2名ありましたが、入院中に患者さん、家族から意思確認ができず、自宅に帰られてからの提供となってしまいました。これらの事例より、病院の体制の遅れを痛感し、すぐに科長会で検討し、入院時のアナムネ用紙に「臓器提供意思表示」と「献眼登録」の項目を追加しました。その後事例の発生はありませんが、このことをきっかけに、以前より臓器提供に対する職員の意識が高まっている印象を受けます。

当院では、臓器提供に関するマニュアルや体制が十分に整備されていない現状ではありますが、院内コーディネーター2年目として昨年より活動の内容を広げていきたいと思っています。今後は、他の職員からの協力も得ながら当院におけるいくつかの課題に取り組んでいきたいと思っています。今年も研修や連絡会で学んだことを伝達し、臨床の現場で適切な対応ができるようにマニュアルの整備をして、職員を対象に教育の実施も考えていきます。患者さん、家族の尊い思いが活かされる病院の体制づくりをし、医療者と患者さん、家族との橋渡しができるよう努力していきたいと思っています。

アイバンク活動への参加に向けて

富山昭和ライオンズクラブ

2011年～2012年 会長 堀 仁志

「ライオンズクラブのアイバンクアクト」の原稿依頼を受けました。「困った！当年度記載できる活動は何もしていない。ファボーレでの献血活動に合わせてと思ってもすでに時遅し。何を書けばいいのか。」と思いつつ「富山県アイバンク」のホームページを開きました。富山県アイバンクの生い立ち、そして「アイバンク手記」を拝見しました。その「手記」には「献眼者遺族からの手記」、「開眼者の手記」そして「アイバンクコーディネーターの手記」が掲載されており、それぞれの立場からの心打たれる内容にアイバンク活動の意義を再確認することができました。会長としてライオンズクラブの重要なアクトを事業計画に組み込まなかったことに対し反省の気持ちでいっぱいになりました。

啓蒙活動はもとよりクラブとして機会をみつけては実施してきたアイバンクへの寄付金も当年度はまだ実行されていませんでした。昨年よりの東日本大震災の義捐金を目的としたチャリティー活動の方に目がいていたのかもしれませんが。遅ればせながら6月19日に開催のクラブ納会ゴルフコンペをアイバンクチャリティーとして実施いたします。

貴重な気づきができるチャンスを与えて頂いたこと、そして原稿締切が5月末であったことに感謝いたします。



6月19日 アイバンクチャリティーとして寄付金を受け取り、感謝状贈呈

献眼登録運動に理解と協力を

高岡志貴野ライオンズクラブ
2011年～2012年 会長 高田一二三

突然ではあったが「富山県アイバンクだより第18号」への原稿依頼を請ける。

さて、何を書けばいいのやらと想いを回らせる内、15年前に投稿した「300字の遺言」のことを思い出した。当時は地方紙やライオン誌等々に掲載もされ少々照れくさいこともあったがここで改めて採り上げてみることにする。

「ご臨終です。」

その通告に伴い、直ちに私が献眼登録者である旨を
その医師に必ず伝えてもらいたい。

妻よ、息子よ、娘よ、怖がらずに、いやがらずに……。

父さんから死後、最初で最後のお願いです。

角膜が摘出され、誰に移植されるのか私は知らないが、
受けた人が新しく、明るい光を見ることができるのです。

「因果応報」の社会です。

その明るい光が君達にも注がれることだろう。

お願いです。父さんの「心」と「角膜」の提供が今までに
できなかった最大の奉仕になるかもしれないから。 合掌

追伸 しかし、その角膜が曇っていたら

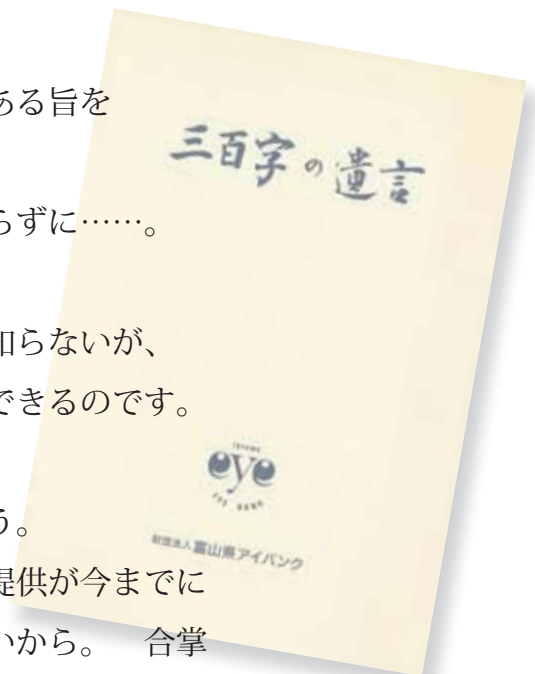
温かい息をそっと吹きかけて下さい。

このようにペンを進めるうちに献眼預託登録
証を思い出したように開いてみた。

富第13559号 平成8年1月29日 とある。

登録者としての気持ちに「揺るぎ」はないが果
たしていつ？考えるのは止めよう。

長生きをして献眼登録運動に更なる理解と協
力することが一番であろう。



ショッピングセンターでの献眼登録運動



公益財団法人 富山県アイバンク

設立20周年記念大会

—— 献眼で 明るい未来 あの人に ——

献眼で あなたにもできます
「光」の贈りもの

宮川花子 記念講演

入場
無料

《演題》

「花子の生き生きライフ」

日時 平成 24年 9月30日(日) ■開場 13:30

会場 富山県民会館

■第一部／記念式典 14:00～15:20

■第二部／記念講演 15:30～17:00

■主催／公益財団法人 富山県アイバンク

■共催／ライオンズクラブ国際協会334-D地区

■後援／富山県、富山市、日本アイバンク協会、富山県医師会、富山県眼科医会、
富山県善意銀行、富山県社会福祉協議会、日本赤十字社富山県支部、
北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞社、
朝日新聞富山総局、毎日新聞富山支局、
FMとやま、富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、
FMとやま、ケーブルテレビとやま、ラジオたかおか



【講師プロフィール】

1955年8月28日生まれ、大阪府出身。
宮川大助氏と夫婦漫才の頂点に立つコンビ。
1979年、大助氏が妻である宮川花子を誘い「宮川大助・花子」を結成する。当初は大助氏がよく喋り、宮川花子が相槌を打つ役割であったが、周囲の勧めもあって現在の形に変更して評判になる。その後上方漫才の賞をいくつも獲得し、現在の地位を確立。1988年胃の手術をした宮川花子は、後に胃がんだったと告白。また1990年には大助氏が、のどのポリープを切除、95年には胆石手術もする。色々なことがあったが、病気とともに夫婦の危機も乗り越え、仲の良い夫婦漫才として活躍中。2006年、結婚30周年（真珠婚式）を迎える。

【受賞】

NHK上方漫才コンテスト 優秀努力賞（1979年）
上方お笑い大賞 銀賞（現・最優秀新人賞）、金賞、大賞
上方漫才大賞 新人賞、奨励賞、大賞
花王名人大賞 新人賞、名人賞
ほか多数

【著書】

「親の顔が見てみたい?」（エンターテインメント）
「愛を見つけたー大助花子のおやオヤ日記」（朝日新聞社）
「空飛ぶ魚」（大助・花子） 「絵本昔ばなし」（東方新社）



公益財団法人
富山県アイバンク

〒930-0194 富山市杉谷2630番地
TEL076-434-5710 FAX076-436-0146

※入場整理券が必要です。詳しくはアイバンク事務局にお問い合わせください。 ☎076-434-5710

ご芳志ありがとうございました。

敬 称 略

□寄付者 ご芳名 平成23年4月～平成24年3月

☆一般

中日本電産株式会社	100,000	矢木義人	3,000	堀 和子	3,000
三水会（富山県呉西地区眼科医会）	56,000	宇波喜久男	3,000	林 きく	3,000
株式会社メガネハウス	50,000	関井はな子	3,000	宮田裕司	3,000
流杉病院	30,000	田之下和美	3,000	斉木敏夫	3,000
河島早苗	20,000	匿名希望	3,000	飯田民子	3,000
柴田医院	20,000	北村よし	3,000	平木としこ	3,000
浜田ヒロ子	10,000	澤田壽朗	3,000	元野清光	3,000
老子きぬい	10,000	稲場トシ子	3,000	松井恵美子	3,000
幾島かをる	10,000	國香悠子	3,000	とよだ眼科クリニック	3,000
作村佐智子	10,000	島崎君枝	3,000	鹿島うら子	3,000
神保秀子	10,000	中川正吉	3,000	高木和夫	3,000
平田眼科医院	10,000	跡治幸子	3,000	角谷幸代	3,000
豊田耕一	10,000	金戸律子	3,000	稲村栄勝	3,000
松井優子	10,000	吉田康昭	3,000	井上政雄	3,000
林 秀作	10,000	谷野克巳	3,000	町田スゞエ	3,000
藤巻篤子	9,000	浜川眞理子	3,000	境 里子	3,000
吉森輝夫	9,000	宮島さだ子	3,000	植田芳樹	3,000
伊藤美也子	6,000	池田霊子	3,000	姫川瑞月	3,000
武田 宏	6,000	林 玲子	3,000	八島文雄	3,000
飴谷和代	6,000	山田征宏	3,000	山本 清	3,000
百澤千賀子	6,000	高林咲子	3,000	中川吏永子	3,000
升田義次	5,000	武田澄子	3,000	水木秀子	3,000
石垣誓子	5,000	福呂道隆	3,000	桶屋賢二	3,000
嶋作恭子	5,000	駒野松也	3,000	内山照子	3,000
下関幸子	3,000	寺澤和美	3,000	土田静子	3,000
高島哲朗	3,000	石黒 寛	3,000	室谷好子	3,000
尾山和子	3,000	木内清光	3,000	渡部尚子	3,000
堀 源郎	3,000	南 正子	3,000	武田 宏（山田温泉病院）	3,000
斉藤譲一	3,000	中筋國雄	3,000	林 とみい	3,000
和田亨子	3,000	炭谷洋子	3,000	奥原喜代司	3,000
中西広一	3,000	寺島恵津子	3,000	宝田雅子	3,000
佐々木宗唯	3,000	山崎享代	3,000	網 美保子	2,000
田中昭子	3,000	千龍義信・千龍かな子	3,000	奥村豊明	2,000
坂田みき子	3,000	中村孝子	3,000		

☆ライオンズクラブ関係

富山県ライオンズクラブ奉仕銀行	2,500,000	磯野敏雄（富山東LC）	10,000
2 R 2 Z ガバナー公式訪問	100,000	北陸ユニット販売株式会社（富山セントラルLC）	10,000
2 R 3 Z ガバナー公式訪問	100,000	株式会社富山県義肢製作所（富山神通LC）	10,000
富山ライオンズクラブ	200,000	田畑裕二（富山西LC）	5,000
富山みなとライオンズクラブ	16,000	大浦 均（富山いきいきLC）	5,000
富山雷鳥ライオンズクラブ	50,000	富山コピー販売株式会社（富山いきいきLC）	10,000
富山平成ライオンズクラブ	115,000	村田 昭（立山LC）	3,000
大山ライオンズクラブ	48,000	池原憲文（入善LC）	50,000
富山西ライオンズクラブ	50,000	笠島 學（高岡LC）	10,000
黒部ライオンズクラブ	100,000	筏井晴夫（高岡フラワーLC）	10,000
高岡フラワーライオンズクラブ	50,000	堀 壽夫（高岡フラワーLC）	5,000
高瀬清春（富山LC）	110,000	木村正明（小杉LC）	10,000
村上 果（富山LC）	3,000	小野豊次郎（となみセントラルLC）	20,000
福井 博（富山みなとLC）	3,000	流田範男（となみセントラルLC）	24,800
佐藤善政（富山南LC）	3,000	吉田 隆（となみセントラルLC）	30,000

□賛助会員 平成23年4月～平成24年3月

個人会員

☆一般

石田ひとみ	新田正昭	舘 奈保子	北川清隆	鳥崎真人	中村孝子
齊藤周子	片山寿夫	中川正人	金井澄子	澤田朋一	長田雅子
山下 泉	森田嘉樹	狩野俊哉	清水英子	作村佐智子	刑部郁子
藤巻篤子	豊田葉子	山下陽子	谷口保孝	広野登志子	奥原喜代司
山本明彦	土田 豊	林 篤志	小沢正康	竹本福志	大庭知子

☆ライオンズクラブ関係

- ・富山ライオンズクラブ 笠間 進 河上 寛
- ・富山雷鳥ライオンズクラブ

梅田清一	太田 茂	清水幸之助	田村敏之	西野義隆
岡田幸光	笹倉秀樹	竹原幸市	波岡邦夫	森 弘
- ・富山南ライオンズクラブ 高柳 昇
- ・富山東ライオンズクラブ 能瀬和雄
- ・富山ちゅうりっぷライオンズクラブ 波岡一子 長勢知子
- ・大山ライオンズクラブ 岡本武勇
- ・富山西ライオンズクラブ

新井司朗	内山芳一	坂口一仁	田畑裕二	中島奈々	東山広嗣	森 雅志
荒木孝吉	大郷 穰	佐賀野昭一郎	土井光男	中瀬恭一	樋口善次	山口勝康
石本 剛	岡崎 誠	澤田孝之	豊岡 正	中野道嘉	廣田隆彦	山田孝志
入坂文一	岡畑康一郎	志鷹淳一	中嶋 進	中村三郎	藤倉栄之	吉田松男
- ・富山いきいきライオンズクラブ 大浦 均
- ・上市ライオンズクラブ 井上誠治 岡部光雄 佐々木照之 中田眞法
- ・入善ライオンズクラブ 市岡義望 道原英克
- ・魚津ライオンズクラブ

石川雅朗	富山 剛	河崎直通	大崎利明	宮野高司	佐近 肇	熊本新一
高岸和男	大沢範洋	本元幸俊	石崎敬治	保里真理子	小坂愛香	高林 敏
寺崎達二	境 伸	橋本浩八郎	山崎昌弘	秋本政亮	尾谷秀雄	狐塚靖弘
岡本賢三	慶野耕一	高縁 勉	野崎唯吉	澤泉 弘	畠山 明	加藤樹永
伊東紀一	稗苗清吉	八木 洋	長岡昭男	川上祐子	清河高之	経塚 徹
清河 衛	高縁 勲	佐々木幹郎	浜多等志	廣瀬和夫	小津ゆかり	三井田一博
小坂 章	油本 茂	石川精二	元野勝行	松崎孝治	浦野孝一	
吉崎 実	谷口正明	入井孝博	虎谷武道	松本憲治	広田耕一	
- ・高岡古城ライオンズクラブ 若森征雄
- ・高岡志貴野ライオンズクラブ 鎌谷克彦 山崎与四之
- ・高岡フラワーライオンズクラブ 一川順彦
- ・高岡伏木ライオンズクラブ 青木英勝 塚田敏夫 山崎泰邦 山下光造 渡邊一三
- ・砺波ライオンズクラブ 野村謹吉 廣瀬利行

法人会員

☆一般

平田眼科医院
株式会社広野

藤沢（法務・登記・測量）合同事務所
久保毅税理士事務所

☆ライオンズクラブ関係

- 富山セントラルライオンズクラブ
- 富山昭和ライオンズクラブ
- 滑川ライオンズクラブ
- 滑川有恒ライオンズクラブ
- 高岡フラワーライオンズクラブ
- となみセントラルライオンズクラブ
- ・富山ライオンズクラブ
- 株式会社押田建設設計事務所
- 株式会社北日本工芸
- サンユウセキュリティ株式会社
- 株式会社タイワ精機
- 高瀬公認会計士事務所
- 富山スガキ株式会社
- 北陸バンドー株式会社
- ・富山雷鳥ライオンズクラブ
- 株式会社オカダアート
- ・八尾婦中ライオンズクラブ
- 株式会社藤井産業
- ・富山神通ライオンズクラブ
- 株式会社富山県義肢製作所
- ・黒部ライオンズクラブ
- 菅野印刷興業株式会社
- ・上市ライオンズクラブ
- 有限会社フジ企画
- ・入善ライオンズクラブ
- 株式会社黒東アメニティ公社

- ・魚津ライオンズクラブ
- 株式会社丸八
- ・高岡ライオンズクラブ
- 医療法人社団紫蘭会 光ヶ丘病院
- ・高岡古城ライオンズクラブ
- 株式会社セイ・アグリーシステム
- ・高岡志貴野ライオンズクラブ
- 富源商事株式会社
- ・高岡中央ライオンズクラブ
- 株式会社岩黒製作所
- ・高岡伏木ライオンズクラブ
- 有限会社笹島商事
- 東光運輸株式会社
- 有限会社平野石油店
- 伏木海陸運送株式会社
- 北陸エンジニアプラスチック株式会社
- 株式会社増井
- 株式会社マルチ・アクセス・カンパニー
- ヤマ自動車株式会社
- ・小杉ライオンズクラブ
- ミユキ化成株式会社
- ・砺波ライオンズクラブ
- 株式会社ガスコムノムラ

募金ありがとうございました。平成23年4月～平成24年3月

☆一般

カモの会	57,028	川口眼科医院	10,624	大山カメラアカントリークラブ	3,494
ますだ眼科医院	28,452	立浪眼科医院	10,220	高島哲朗	3,000
ポプラ高岡泉ヶ丘店	22,453	ポプラ戸出春日店	9,412	奥原喜代司	2,000
ポプラ伏木古府店	18,082	狩野眼科医院	8,978	北山ナーセリー	1,627
ポプラ中屋店	16,828	ほり眼科クリニック	6,725	いきいきとやま第24回健康と長寿の祭典	1,260
高岡市民病院売店	15,936	越州	5,779	じゅうじゅう大沢野店	775
済生会富山病院眼科	14,609	丹保病院	3,927		
ポプラ小杉東店	13,358	済生会高岡病院	3,661		

☆ライオンズクラブ関係

八尾婦中ライオンズクラブ	18,229	・富山ライオンズクラブ	
上市ライオンズクラブ	10,000	宮岸株式会社	8,793
入善ライオンズクラブ	14,746	・富山雷鳥ライオンズクラブ	
高岡志貴野ライオンズクラブ	11,986	名鉄トヤマホテル	12,072
氷見ライオンズクラブ	20,000		

平成24年度寄附金付年賀はがき助成金の 配分を受けました

郵便事業株式会社より、平成24年度寄附金付年賀はがき助成金の配分を受け、「ご献眼から移植までの作業に係る機器（バイオクリーンベンチ・フリーザー付薬用保冷庫・摘出機器一式2組）」の整備を行いました。

本当にありがとうございました



公益財団法人富山県アイバンク 平成23年度事業報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

〈公益事業1〉

眼のあっせん等に関する事業

(1) 献眼登録者の募集および啓発事業

登録パンフレット11,000部を印刷し、県内医療機関、市町村、関係各所へ配布した。

登録希望者へパンフレットの配布、登録カードの発行を行った。

本年度の献眼登録者数は、85名となった。

(2) 眼球あっせん事業

① 眼球のあっせん

●ドナー情報が、24名あり、19名から提供を頂いた。

献眼月	年齢	性別	在住地
4月	70歳代	女性	富山市
	90歳代	男性	高岡市
5月	80歳代	男性	立山町
	80歳代	女性	富山市
8月	90歳代	女性	京都市
	90歳代	男性	高岡市
10月	80歳代	男性	高岡市

献眼月	年齢	性別	在住地
11月	70歳代	男性	富山市
12月	60歳代	女性	富山市
	80歳代	男性	富山市
	80歳代	男性	氷見市
1月	50歳代	男性	小矢部市
	70歳代	男性	南砺市
	80歳代	女性	富山市

献眼月	年齢	性別	在住地
1月	30歳代	女性	富山市
2月	60歳代	女性	高岡市
	70歳代	男性	魚津市
	70歳代	女性	富山市
	60歳代	男性	富山市

●提供者のご葬儀に参列し、弔辞を奉読し、感謝状を伝達した。

●提供者ご遺族へ、角膜移植報告を行った。

●提供眼球の検査等を行い、医学基準に基づき、あっせんを行い、34名の方に角膜移植が行われた。

② 移植希望者の募集および登録

●移植を希望する医療機関より移植申込を受け、移植待機リストを作成した。

(3) 普及啓発事業

① 医療従事者への啓発活動

●院内コーディネーター連絡会（5月、7月、9月、11月、1月、3月）を開催し、院内コーディネーターへの啓発活動を行った。

●病院症例検討会を行った

富山県立中央病院・厚生連高岡病院（毎月1回）

高岡市民病院（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

●院内移植委員会等に参加した

市立砺波総合病院 臓器・組織の移植に関する委員会

（4月、5月、6月、7月、8月、9月、10月、12月、1月、2月、3月）

7月14日 市立砺波総合病院移植講演会

8月31日 高岡市民病院移植講演会

9月7日 富山大学附属病院臓器移植に関する委員会

9月27日 第9回富山県脳死下臓器提供に関わる関係団体の連絡会議

11月27日 富山県立中央病院臓器移植講演会

1月10日 富山大学附属病院臓器の移植に関する委員会

2月7日 富山大学附属病院臓器の移植に関する委員会（WG）

●啓発活動の一環としての講演会

○グリーンケアとしてのエンゼルメイク

4月25日 八尾総合病院

7月29日 富山福祉短期大学看護学科

1月27日 富山大学医学部看護学科

○献眼啓発講演会

9月8日 富山市民病院移植講演会

3月7日 南砺市民病院移植講演会

○富山大学附属病院においてのRRS医局説明会実施

3月27日 神経内科において説明会実施

3月28日 救急部医局において説明会実施

3月29日 第三内科において説明会実施

② 一般県民への啓発活動

●街頭での啓発活動

7月24日 福岡町ボランティア大会にて登録パンフレット配布
 9月15日 立山舟橋商工会にて登録パンフレット配布
 10月4日・5日 富山県民会館にて登録パンフレット配布
 10月10日 エブリバディスポーツデイ2011にて登録パンフレット配布
 10月16日 イオンモール高岡にて登録パンフレット配布
 10月23日 新湊カニかに海鮮白えびまつりにて登録パンフレット配布
 11月21日 高岡エクールにて登録パンフレット配布
 12月4日 イオンモール高岡にて登録パンフレット配布
 12月16日 ハイトマト呉羽東店にて登録パンフレット配布
 1月4日 イオンモール高岡にて登録パンフレット配布
 2月14日 富山国際大学附属高等学校にて登録パンフレット配布
 2月19日 アピタ砺波店にて登録パンフレット配布
 3月21日 射水市役所新湊庁舎にて登録パンフレット配布

(4)その他

4月14日 富山県臓器移植院内コーディネーター委嘱状交付式に出席し、その後懇談会を開催した。
 7月16日 日本アイバンク協会第23回アイバンクワークショップセミナーに参加した。
 8月6日 第10回日本組織移植学会学術集会に参加した。
 8月7日 日本組織移植学会平成23年度第1回コーディネーター合同セミナーに参加した。
 8月26日 平成23年度献眼登録フォローアップ事業を開始した。
 11月4日～6日 日本移植コーディネーター協議会第10回JATCO総合研修会に参加した。
 2月18日・19日 日本組織移植学会平成23年度第2回コーディネーター合同セミナーに参加した。
 2月23日～25日 角膜カンファランス2012にてポスター発表を行った。
 2月25日 日本アイバンク協会第24回アイバンクワークショップセミナーに参加した。

〈公益事業2〉眼の衛生に関する普及啓発事業

(1)アイバンクだより第17号を発行（6,000部）し、登録者並びに県内関係機関へ配布した。

(2)眼の衛生に関する講演会

9月16日 富山セントラルライオンズクラブ・富山神通ライオンズクラブ・富山西ライオンズクラブ3クラブ合同例会にて講演
 12月7日 大門ライオンズクラブ例会にて講演

(3)広報誌「アイバンク情報」を月1回発行し、ホームページに掲載した。

(4)募金箱30個を作製し、県内各所に設置した。

〈その他〉

4月19日 高瀬、港両監事に平成22年度事業報告書並びに決算報告書の監査を受けた。
 6月13日 理事会を開催し、「平成22年度事業報告並びに決算報告」の承認を行った。
 6月16日 ライオンズクラブ奉仕銀行常任委員会に出席し、平成23年度の助成協力をお願いした。
 6月27日 評議員会を開催し、「平成22年度事業報告並びに決算報告」の承認並びに任期満了に伴う理事の選任を行った。
 7月13日 理事会にて「理事長・副理事長・常務理事」を選任した。
 7月15日 日本アイバンク協会広域活動地区連絡会及び全国連絡協議会に参加した。
 8月17日 役員の変更登記を行った。
 9月12日 ライオンズクラブ奉仕銀行会議に出席した。
 10月31日 高瀬、港両監事に平成23年度中間期事業報告並びに決算報告の監査を受けた。
 12月1日 理事会を開催し、「平成23年度中間期事業報告並びに決算報告」の承認を受けた。
 3月2日 日本アイバンク協会東海北陸ブロック連絡協議会に参加した。
 3月14日 理事会を開催し、「平成23年度修正収支予算書」「平成24年度事業計画並びに予算書」の承認を行った。
 評議員会を開催し、「平成23年度修正収支予算書」「平成24年度事業計画並びに予算書」の承認を行った。

寄附金を頂いた個人・団体等へ感謝状を伝達した。

公益財団法人富山県アイバンク 平成23年度収支計算書（損益）

平成23年4月1日～平成24年3月31日
(単位：円)

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	118,475	0	118,475
基本財産利息収入	118,475	0	118,475
②特定資産運用益	2,902	0	2,902
特定資産利息収入	2,902	0	2,902
③受取会費	660,600	440,400	1,101,000
賛助会員会費収入	660,600	440,400	1,101,000
④事業収益	6,000,000	0	6,000,000
角膜幹旋手数料	6,000,000	0	6,000,000
強膜幹旋手数料	0	0	0
⑤受取補助金等	2,850,000	1,000,000	3,850,000
富山県補助金収入	1,350,000	0	1,350,000
LC奉仕銀行助成金収入	1,500,000	1,000,000	2,500,000
⑥受取寄付金	1,441,734	725,120	2,166,854
寄付金収入	1,087,680	725,120	1,812,800
募金収入	354,054	0	354,054
⑦県委託事業費収入	2,500,000	0	2,500,000
⑧日本アイバンク協会助成金収入	459,750	0	459,750
⑨雑収益	9,066	6,044	15,110
受取利息収入	1,218	812	2,030
その他の収入	7,848	5,232	13,080
経常収益計	14,042,527	2,171,564	16,214,091
(2)経常費用			
事業費	12,145,275	30,492	12,175,767
①眼球のあっせん等に関する事業費	2,847,887	0	2,847,887
募集登録費支出	1,011,716	0	1,011,716
旅費交通費	133,060	0	133,060
印刷製本費	161,010	0	161,010
通信運搬費	177,631	0	177,631
広報費	540,015	0	540,015
あっせん事業費支出	1,836,171	0	1,836,171
摘出謝礼	322,222	0	322,222
旅費交通費	364,810	0	364,810
弔慰費	140,000	0	140,000
器具消耗品費	555,145	0	555,145
検査費	194,817	0	194,817
感謝状伝達費	259,177	0	259,177
②眼の衛生に関する普及啓発事業費	756,934	0	756,934
啓発事業支出	756,934	0	756,934
印刷製本費	549,600	0	549,600
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	207,334	0	207,334
③公益事業共用費	5,383,417	30,492	5,413,909
コーディネーター活動支出	774,621	0	774,621
諸給与支出	3,690,979	0	3,690,979
コーディネーター給与手当	3,369,307	0	3,369,307
福利厚生費	321,672	0	321,672
通信運搬費	197,916	0	197,916
事務消耗品費	230,854	0	230,854
雑費	156,011	0	156,011
その他	98,857	0	98,857
振込手数料	57,154	0	57,154
退職給付費用	302,544	0	302,544

科 目	決 算 額		
	公益事業小計	法人会計	合 計
リース代	30,492	30,492	60,984
④什器備品償却費	150,832	0	150,832
⑤県委託事業費支出	2,546,455	0	2,546,455
⑥日本アイバンク協会委託事業費支出	459,750	0	459,750
⑦特別会計繰出額	0	0	0
管理費	0	1,960,106	1,960,106
①諸給与支出	0	834,608	834,608
給与手当	0	792,324	792,324
福利厚生費	0	42,284	42,284
②会議費支出	0	458,987	458,987
理事・評議員会他	0	376,677	376,677
旅費交通費	0	82,310	82,310
③需用費支出	0	444,315	444,315
通信運搬費	0	56,658	56,658
対外渉外費	0	114,750	114,750
印刷製本費	0	20,150	20,150
事務消耗品費	0	2,079	2,079
賃借料	0	125,324	125,324
雑費	0	125,354	125,354
④退職給付費用	0	75,636	75,636
⑤什器備品償却費	0	146,560	146,560
経常費用計	12,145,275	1,990,598	14,135,873
評価損益調整前当期増減額	1,897,252	180,966	2,078,218
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,897,252	180,966	2,078,218
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
退職給付会計基準変更時差異額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,897,252	180,966	2,078,218
一般正味財産期首残高			75,317,401
一般正味財産期末残高			77,395,619
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
富山県補助金収入	0	0	0
日本アイバンク協会助成金収入	0	0	0
LC奉仕銀行助成金収入	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
LC奉仕銀行助成金収入	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産利息収入	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高			77,395,619

公益財団法人富山県アイバンク理事・監事

(平成24年7月1日現在)

理事41名・監事2名

役 職	氏 名	勤 務 先	役 職	氏 名	勤 務 先
理 事 長	大黒 幸雄	株式会社マルチ・アクセス・カンパニー 代表取締役	理 事	磯野 敏雄	司法書士・土地家屋調査士磯野敏雄事務所 代表
副理事長	宮岸 武	北陸バンドー株式会社 代表取締役社長	理 事	稲垣 實	有限会社稲清 代表取締役
副理事長	伊勢 豊彦	株式会社セイ・アグリーシステム 代表取締役	理 事	戸田 治	戸田電気鉄興株式会社 代表取締役
常務理事	野村 謹吉	株式会社ガスコムノムラ 会長	理 事	戸田 昭一	有限会社戸田製作所 取締役
常務理事	森 弘	防災電設株式会社 代表取締役	理 事	河合 宏和	株式会社かわいべピー 代表取締役
名誉理事	井村東司三	井村医院 院長	理 事	花島 榮一	有限会社花島精肉本店 代表取締役
名誉理事	高田 眞	阪神容器株式会社 代表取締役会長	理 事	尾間 央	有限会社平野石油店 代表取締役
理 事	本村 哲明	株式会社北日本工芸 代表取締役	理 事	小林 秀幸	富山県 厚生部長
理 事	岡本 武勇	社団法人富山県身体障害者福祉協会 会長	理 事	石田 俊郎	石田眼科医院 院長(富山県眼科医会 会長)
理 事	金井 澄子	富山県善意銀行 参与	理 事	門前 昌志	阪神化成工業株式会社 総務部長
理 事	寺崎 達二	有限会社寺崎樹脂 代表取締役	理 事	廣田 勉	有限会社広田仏壇仏具 代表取締役
理 事	藤澤 實	藤沢(法務・登記・測量)合同事務所 司法書士	理 事	魚谷 和彦	株式会社フードシステム 代表取締役社長
理 事	高田 順一	阪神容器株式会社 代表取締役社長	理 事	三井 適夫	株式会社ミツイ 代表取締役社長
理 事	笠島 學	医療法人社団紫蘭会光ヶ丘病院 理事長	理 事	佐々木照之	有限会社博善社 代表取締役会長
理 事	清水 英子	富山県善意銀行 副理事長	理 事	宇波真一郎	あさひ City Inn HOTEL 代表
理 事	牧 亨	東光運輸株式会社 代表取締役社長	理 事	杉村 憲一	小間印刷株式会社 常務取締役
理 事	藤巻 篤子	眼科医師	理 事	山田 真功	平和交通株式会社 代表取締役
理 事	吉田 隆	株式会社吉田家具店 代表取締役	理 事	野村 賢政	株式会社ヤンマー 代表取締役
理 事	林 篤志	富山大学医学部眼科 教授	理 事	府録 弘之	株式会社府録組 代表取締役社長
理 事	林 巖	あおば税理士法人 税理士	監 事	高瀬 清春	高瀬公認会計士事務所
理 事	中尾 順一	株式会社ホクペレ 代表取締役会長	監 事	港 勉	保護司
理 事	木村 正明	木村経営会計事務所 所長			

公益財団法人富山県アイバンク評議員

(平成24年7月1日現在)

計 36名

氏 名	勤 務 先	氏 名	勤 務 先
村家 博	むらい食品株式会社 代表取締役	池原 憲文	池原印刷所 代表
松下 栄信	株式会社松下工業 代表取締役社長	高縁 勉	高縁タイル店 代表
大坪 敏雄	大栄印刷株式会社 代表取締役社長	柳澤 伸一	有限会社クリーンみず穂 代表取締役
高田 重信	高田燃料店	城 外喜男	株式会社双葉商会 代表取締役社長
瀬川 憲一	鹿鳴館 代表	若森 征雄	若森商店 代表
藤井 明美	株式会社アボケアとやま 代表取締役社長	板野 吉秀	株式会社いたの 代表取締役社長
澁谷 明男	富山城南温泉病院	平木 光昭	平木歯科医院 院長
長谷川修博	日本海調温株式会社 代表取締役	小濱 裕夫	中村機械 代表
山口 清	有限会社富山重機 代表取締役社長	一川 順彦	
浦田 啓一	有限会社しまだ 代表取締役	森越 隆士	昇永工業株式会社 代表取締役社長
寺島 太郎	有限会社プロハート 代表取締役	山下 光造	有限会社山下建築設計事務所 代表取締役
中野 道嘉	中野道嘉事務所 所長	石村 正男	北海工業株式会社 代表取締役会長
辻井 益雄	株式会社富花 代表取締役	永森 忠志	永森建設工業株式会社 代表取締役
吉川 裕	有限会社吉川保険事務所 代表取締役	高松 和宏	北日本フードサービス株式会社 代表取締役社長
橋本 徳倫	徳城寺住職	片山 孝志	片山工業株式会社 代表取締役
菅野 寛二	菅野印刷興業株式会社 代表取締役	野田 孫就	野田歯科医院 院長
窪田 一誠	立山町町議会議員	石黒 稔	有限会社ミヤコ 代表取締役社長
前田 新作	滑川市議会議員	北岡 勝	公益社団法人富山県善意銀行 常任理事兼事務局長

アイバンク Q & A

Q 1. 献眼と臓器提供って どう違うの？

A 1.

献眼は心停止の後にご連絡をいただいても、大丈夫です。但し、その他の臓器は違います。

Q 2. 何歳まで できるの？

A 2.

臓器提供は、肝臓を除いて年齢の制限がありません。しかし、献眼はおいくつでもできます。100歳以上の方からも、ご献眼いただいています。

Q 3. どうやって 提供するの？

A 3.

本人が拒否していない限り、ご家族の同意で提供が可能です。ご本人の意思は意思表示カードや免許証・保険証の裏の意思表示欄に記すことができます。アイバンクでは、献眼登録をしてもらいアイバンクカードを発行しています。

Q 4. 白内障の手術 をしたのですが 献眼できますか？

A 4.

できます。近視、乱視、老眼、色盲のような眼の異常、白内障などの眼の病気があっても登録は可能です。

Q 5. どこで 提供 するの？

A 5.

ご献眼は、お亡くなりになったところでできます。病院やご自宅でも大丈夫です。

Q 6. 献眼できない 病気って あるの？

A 6.

エイズ・B型肝炎・神経系疾患・敗血症・白血病などの病気は献眼できません。

Q 7. 献眼した後は どのように なりますか？

A 7.

義眼を入れた後、その後エンゼルメイクを施しますのおだやかなお顔はそのまます。なお、摘出の時間は30分程度とわずかです。

広報委員

牧 亨
岡本 武勇
佐賀野 一郎
中尾 順一
慶野 耕一

吉田 隆
戸田 治
河合 宏和
寺崎 達二
高田 順一

清水 英子
木村 正明
流田 範男
稲垣 實
尾間 央

筏井 晴夫
吉田 松男
浦山 哲郎
熊野 清
戸田 昭一

花島 榮一
林 巖

編集後記

家の居間には、わが夫婦の『献眼預託登録証』の額が飾ってあります。平成2年10月、富山県善意銀行・富第9175号と9176号。カバー付きの登録証には「万一亡くなられた場合、手術は急を要しますので直ちに大学附属病院眼科へ献眼者である旨を、緊急ご連絡下さると共に、ご遺体の目ぶたを閉じておいて下さい」とあります。額に入れ、家族の見やすい様にと飾りました。富山神通ライオンズクラブ幹事をした当時の事です。

翌年、ライオンズクラブが家城潔地区ガバナーを委員長に、財団法人富山県アイバンクが設立されました。善意銀行からの登録者数を円満に引き継ぎスタートしました。ばくも、ガバナー補佐役を仰せつかって、準備等で大忙しだった事をよく覚えています。いま、公益財団法人の確固たる実績をもとに、献眼運動が発展しておりほんとうに嬉しい限りです。

アイバンクだより第18号の発行にあたり、ご遺族様をはじめ皆様からの素晴らしいご寄稿を賜り、一同心より感謝を申し上げます。

理事（元常務理事） 岡本 武勇



富山県アイバンクだより

第18号・平成24年7月30日

発行

公益財団法人 富山県アイバンク

富山市杉谷2630
TEL (076) 434-5710
発行人：大黒 幸雄